京都市建築協定連絡協議会広報紙

建築協定だより

Vol.40号
編集・発行
京都市建築協定連絡協議会
事務局
〒604-8571 京都市中京区寺町通
御池上る上本能寺前町488番地
京都市都市計画局建築指導部建築指導課内
TEL.075-222-3620

平成28年度建築協定連絡協議会総会

第1部　議事

第1号議案　平成27年度事業報告及び決算報告

第2号議案　平成28年度事業計画案及び予算案

第3号議案　役員改選

第2部　建築協定お悩み相談会

平成28年度の総会を、去る6月5日(日)「職員会館かもがわ」にて開催し、加盟運営委員会36団体のうち、34団体(出席20団体＋委任状提出14団体)の御参加、33名の方々の御出席をいただきました。

会長あいさつ

「会長寸言」

京都市建築協定連絡協議会
会長　調子　益夫

この度、京都市建築協定連絡協議会会長に就任しました伏見区桃山与五郎町地区建築協定運営委員の調子益夫でございます。前会長桑原氏同様ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

京都のまちづくりは、最初の条里制や、秀吉による洛中洛外(御土居による区別)の成立など常に為政者によるまちづくりの歴史が言われています。また、戦時中は建物疎開が行われ、その結果として五条通のような道路づくりがなされたりしました。

バブル経済の時は、地上げによるまちこわしがありました。彼らは、まちの景観がどうだか、そこでの生活がどうだか等とは関係なく、むしろ守られてきた景観を逆手にとっていわく「○○が見えるマンション」などと売り物にしてきました。

その一方で、例えば秀吉に抵抗して、道路を通さなかった所謂「田の字地区」の町衆の動きがあり、また最近のまち破壊に対する住民の抵抗や京町家の保存運動があります。

自らの力でまちを守り、そこで暮らすために、私たちがよって立つ一つのツールないしは武器としてこの建築協定があると考えます。

今後も建築協定を建築規制だけでなく、まちづくりにも活用していくことが大切であります。

皆様のご協力をお願いいたします。

京都市建築協定連絡協議会 ホームページをご活用ください!

ホームページにより、連絡協議会や各地区の活動の周知、まちづくりに役立つ資料・情報の集積・共有等を図り、縦(次の世代)及び横(各地区の運営委員会及び住民各位)の連携強化を目指しています。

「京都市建築協定連絡協議会」で検索してご覧ください。

京都市建築協定連絡協議会　検索

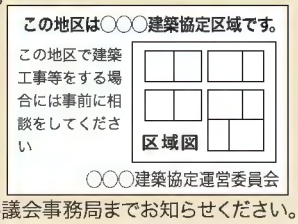
http://kyotokeikan.org/kenchikukyoutei_HP/index.html

建築協定地区表示看板を新設・補修する際に、補助金の交付が受けられます！

建築協定表示看板とは、その地区が建築協定地区であることを、広く地区内外の方々にお知らせし、建築工事等の際の事前相談を促す目的で設置される看板です。

新設 5万円を上限として実費

補修 2万円を上限として実費



※事前に工事の予定と見積額を連絡協議会事務局までお知らせください。予算の都合上、補助金をお渡しできないこともありますので、御注意ください。

事務局：京都市都市計画局建築指導部建築指導課　担当　山田
電　話：075-222-3620

■第1部 議案審議

第1部の議案審議では、京都市建築協定連絡協議会(以下「連絡協議会」という。)の平成27年度事業報告及び決算報告が行われました。加えて、平成28年度事業計画案及び予算案について、審議を行い、承認されました。

また、連絡協議会の役員改選についても審議が行われ、これまで連絡協議会の会長を務めた桑原が退任し、調子が新会長として就任すること、蓑島が新会計として就任すること、大西が新役員として就任することで承認されました。

詳細につきましては、連絡協議会のホームページに掲載しております。

【平成28年度事業計画】

平成28年	4月14日	第1回「役員会」
	5月19日	第2回「役員会」
	6月 5日	平成28年度総会・お悩み相談会
	7月14日	第3回「役員会」
	9月上旬	広報紙「建築協定だより」第40号発行
	9月中旬	第4回「役員会」
	10月中旬～11月初旬	他都市研修会
	12月中旬	第5回「役員会」
平成29年	1月下旬～2月初旬	意見交換会・勉強会
	2月下旬	第6回「役員会」
	3月中旬	広報紙「建築協定だより」第41号発行

■第2部 建築協定お悩み相談会

第2部は、建築協定運営委員会 意見交換会として、「建築協定お悩み相談会」を行いました。皆様がそれぞれお住まいの地区で日ごろ感じられている、建築協定に関するお悩み事などについて、5つのグループに分かれて自由に意見交換をしていただきました。

相談会の最後には、模造紙に、付箋やキーワードごとにグループ分けをしてまとめていただいた問題点や解決策等の様々な御意見を、それぞれのグループごとに発表していただきました。

総会アンケート結果

総会の最後に、今後の連絡協議会の活動や各地区の運営について、アンケートへの御協力をお願いいたしました。御参加いただいた皆様には、多くの貴重な御意見をいただきありがとうございました。紙面の関係で回答は概略となりますが、ここで御紹介いたします。

総会に出席された御意見・御感想

●初めての参加で分からないことばかりだったが、大変勉強になった。

●お悩み相談会は、新旧のまちの差、年齢の差などを越えた意見交換の場として良い企画だと思った。

●他の地区の状況や経験が聞けたのが良かった。どのように対応すべきか参考にしていきたい。

●意見交換の時間をもう少し多く取れたらいいと思う。

冬の勉強会について

冬の勉強会について、皆様のご意見を募りました。皆様の様々なご意見を参考に、事業の検討を進めて参ります。

●少人数グループのミーティング方式が良いと思う。

●ワールドカフェは、ざっくばらんに日常の問題等が気軽にはなせるため手法として非常に良い。

●裁判対策などを解説してほしい。

●京都市の景観と保全の方向付けについて検討すべき。

●協議会内部だけでなく、広く市内の町内会や自治会も参加できるようにしたらいいと思う。

建築協定活動、運営、協議会活動などについての御意見

●建築協定に合意する地区を広げる活動をする必要がある。

●協定と運営の問題(協定地区への加入、協定書の内容など)があり、今後の課題としてどのようにしたらいいか悩む。

●自治会役員の人が次年度の協定委員になるのは、自治会の日常の繋がりを活用でき、また、長い目で見れば多くの人が経験できるため広く普及できる。

アンケート結果や総会での皆様の御意見を踏まえ、建築協定連絡協議会として、引き続き建築協定の普及・啓発に努めて参ります。

まとめ

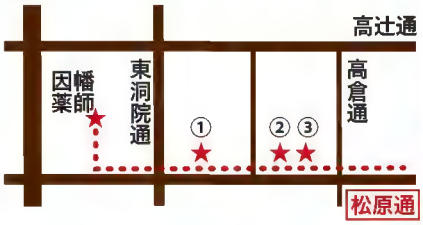
まちなか探索

大宮通り～堀川通り～河原町～鴨川～大和大路

往時は五条松原通り 弁慶・義経出会いの地（後編）

京都市建築協定連絡協議会
服部 真貴子

（因幡薬師から）東に向いて歩みを進める。民家らしいが、木の格子にガラスの入った、町屋を思わせる家があった。創業明治二六年の老舗、大谷金庫の**本店**①は当時を偲ぶ大店の風情、二、三軒おいて、**京扇子の問屋**②、和装小物の店の看板もレトロ、その隣は半軒ほどの間口で、散髪の三色のねじり棒があり、廃屋の体の店の看板は煤けたペンキの下に**「祇園床」**と読めたのは「床屋」と言っていた時代の名残を見つけておもしろい。③



河原町通りを突き切ると、鴨川に出る。

この橋が**松原橋**で弁慶と牛若丸の出会いの橋なのだ。今の五条大橋より格段に小さいし、欄干らしきものもないが、このほうが、唄にあるイメージに合う。渡った所の道路は川端通り。公園に観光案内の地図がある。さらに東に行く。大和大路に出る一筋手前を南下する。

暫く下って行くと、右手に門があり、あじき路地の入口。中を窺ってみる。何とも懐かしいたたずまい。明治時代末期に建てられた町屋長屋。今では異次元の感さえある。

長年空き家だった長屋を大家さんが「物作りなどに頑張っている若者に使って欲しい」と二〇〇四年に募集をして、始まった。当初はボロボロだったが、入居者と大家さんの安食さんが協力して大改造したという。路地の北側は二階建てで、南側は平屋建て。

まず、かかりは**「ギャラリーあじき」**。もともと大家さんの住まいを改造して、京町屋を存続させたもの。ここの見学は予約制。一軒目は**焼き菓子専門店**、靴を脱いで上がる。六畳ほどの広さに焼き菓子が並んでいる。全部手作りで、その奥の台所で作っている。脇に小さい階段があって、二階が生活圏らしい。ナッツの入ったクッキーを二つ買った。二軒目は**照明器具と喫茶**、休業日なのでとばし三軒目はオーダーメイドの**帽子販売の店**、七軒目は**三味線**を造っている。突き当たりは**ドライフラワー**をアレンジして、ルームアクセサリーにしたものが空間を覆うがごとく置いてある。南側一軒目は**パン屋**さん、玄関を入ると木の格子戸を開ける。フランスの女性がしゃいませ」と迎える。パンの香りが部屋一面に漂う。パンを一つ買って紅茶を注文した。二部屋の間仕切りを取って、パンが並んでいる。かつてはこんなに狭い所を使って生活があったと思うと、庶民の暮らしの有り様に思いを馳せる。路地は通り抜けはできない。大和大路通りに出る。

北へ進んで四条通りに出る。

その途中、**えびす神社**があり、一月の初めの「えびす祭り」の喧騒が思われる。

完

（※記事は平成28年1月時点に取材したものです。）

京都市建築協定連絡協議会25周年記念事業

当協議会が平成27年度に設立25周年を迎えたことを記念し、平成28年3月6日(日)に、ひと・まち交流館京都にて記念事業を開催しました！

当日は、京都市内の建築協定地区の方々をはじめ、一般市民や学生さんなど、たくさんの方が御参加くださいました。

第1部では、基調講演として、近畿大学総合社会学部の久隆浩教授から「井戸端会議から始まる楽しいまちづくり」と題し、地域まちづくりについて、実際の活動事例を交えながらお話いただきました。

第1部基調講演

「井戸端会議から始まる楽しいまちづくり」

講師　近畿大学総合社会学部　教授　久　隆浩先生

1　地域活動の見直し

地域のまちづくりにおける課題の一つに、地域活動の数は増えているが、そこで活動する人(担い手)が足りないことが挙げられます。この状況を解決するためには、これまでの発想にとらわれず、地域の担い手の数や体力にあった、バランスのとれた地域活動の数、規模とすることが必要となります。

一度、皆様お住まいの地域での地域活動をピックアップしてみてください。相当たくさんの地域活動が行われているはずです。また、同じような目的、活動内容となっている地域活動が複数あると思います。次に、地域の担い手の数、体力、地域活動に費やすことができる時間を確認してみてください。

このような地域活動のピックアップ及び地域の担い手の確認により、地域の担い手の数、体力等を踏まえた、地域にとって無理のない地域活動となるよう、必要な地域活動の選定や活動規模の縮小等を行う「地域活動の棚卸し」が必要となります。

2　階層組織とネットワーク

これまでの地域活動はどちらかというと、「階層組織型の活動」ということができます。これは、地域活動の組織の中に上下関係があり、役員等の上層部において意思決定を行ったうえで、その意思決定を地域一丸となって実現していくものです。

一方、「ネットワーク型の活動」とは、組織の中に上下関係がなく、地域の皆様が自発的に、出来ること・やりたいことを行い、まちづくりを実施していくものです。この「ネットワーク型の活動」は責任の所在があいまいとなる等の欠点はあるものの、地域の方一人一人が周りの状況を考え、自分がすべきこと、やりたいことを実践できることから、やりがいのある活動ができる利点があります。

地域活動においては、緊急性を要する活動や多くの方々でじっくり行うことが必要な活動は、階層組織型、長続きさせたい活動はネットワーク型で実施するというように、活動内容等に応じて使い分けることが必要となります。

3　ネットワーク型の活動展開

効率よくネットワーク(つながり)をつくるには、コーディネーターが間にはいったり、それぞれの団体をつなぐ組織(地域活動協議会等)を作れば良いのですが、人がつなぐ、組織がつなぐというのは、なかなか大変です。そこで、集まる場所・機会をつくり、そこに集まった方々が情報交換し、つながりをつくっていこうという仕組みが、まちづくり井戸端会議です。具体的にどのような活動を行っているかというと、月に1回集まり、意見交換・情報交換を行っています。

また、まちづくり井戸端会議には3つの原則があります。

① 出席したい人が出席したいときに
それぞれが自分のペースで出席できます。

② 議題はみんなで持ち寄る
テーマを設定すると、準備をする方々に負担がかかります。誰もしんどい思いをしている人がいない、ということが長続きの秘訣です。

③ 合意形成を目的としない
今までの会議は、集まって何かを決めることが目的でしたが、井戸端会議は色々なつながりを生むことが目的であるため、無理に合意形成しません。

まちづくり井戸端会議はつながりづくりのきっかけです。そこで仲間・賛同者を見つけ、新たに活動していくことができれば、やりたい人が集まり、やりたいことをみんなが自発的に行っていく、というネットワーク型の活動が生まれます。

出来るときに、出来るひとが、出来ることをやっていくことで、より多くの人が無理なく、楽しく活動していけるのではないでしょうか。

(文責　事務局)

日　時
平成28年3月6日(日)
13時30分～16時30分

会　場
ひと・まち交流館京都
ワークショップルーム1・2

プログラム
開会
会長挨拶
市長祝辞
第1部　基調講演
第2部　意見交換会

基調講演の様子

第2部意見交換会

「地域の交流の場の創出と地域交流をまちづくりへ活かす方法について」

第2部では、少人数に分けたテーブルで、自分たちの地区のコミュニティの現状や、コミュニティをまちづくりにつなげる方策について、意見交換を行いました。

25周年のお祝いに市長が駆けつけてくださいました。

たくさんのご参加ありがとうございました！

若い方からの新鮮な意見もたくさんでました！

トピックス1
みなさんの地域にはどのような交流がありますか？

- 知らない人とあいさつするようになった。
- ひととひとの繋がりができた。
- 情報交換できる。
- 挨拶の出来る関係はお互いに安心する。

運動会
夏祭り
飲み会
地区のそうじ会
ラジオ体操
地蔵盆
自治会活動
いきいきクラブ お年寄りの集まる場
マンション反対運動をきっかけに地域で話し合い

- 若い方と年配の方との間で交流の場が異なる。
- 若い方、マンションにお住まいの方、新しく地域に入ってきた方に、情報が届いていない。
- コミュニティへの参加者が少ない。

席替え

トピックス2
みなさんの地域の交流の場をより魅力的なものとするためには？

- どうやってきっかけをつくっていくのか、若い方や新しく地域に入ってきた方にどのように情報を届けていくのかが課題
- 「自治会に入るメリットがない」という言葉を良く聞くが、サービスを受ける側の立場でとらえるからこのような言葉がでるのではないか。自分は地域の一員であるという意識づけが、これからの課題になるのではないか。
- コミュニケーションのきっかけとして、子どもをきっかけに、また犬の散歩などで犬をきっかけに、つながることができるのではないか。
- 若い世代が住みたい町というのは、子どもを産んで育てやすい町だという意見があった。
- 元々住んでいる方が心を開いて新たな人を迎えるという意識が、まちの常識になっていけば、コミュニティがうまく形成されていくのではないか。交流の場やコミュニティを濃くするということは、各々のこころの持ちようではないか。

久先生からのまとめ

・まじめなまちづくりに、楽しいまちづくりを組合せることで、環が広がり、違った視点が生まれるのでは。

・情報発信の方法、若い人の巻込み方についての情報提供。榎本地域活動協議会の事例を紹介。フェイスブックやホームページをうまく活用し、いろんな情報をリアルタイムに提供している。

参加者のご感想（一部）

（基調講演）

・活動の棚卸、実行委員会方式（ネットワーク型）、地域活動のヒントになることを学ばせていただきました。

・共感するお話や参考になるお話がたくさん聞けて勉強になりました。

（意見交換会）

・世代を超えた意見が聞けて良い体験となった。

・若い世代と自治会のある世代（熟年層）との交流の差があることが分かった。特に若い世代には、地域への交流の場がない。今後、若い人へのアプローチ、きっかけ作りが必要と感じた。

祝 News!! 平成28年度まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣賞受賞

これまで当連絡協議会の会長を務めた桑原尚史氏が、まちづくりと景観を考える全国大会において、平成28年度まちづくり月間まちづくり功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。まちづくり月間とは、住民の積極的な参画の元に創意と工夫を活かしたまちづくりを推進することを目的とするものです。

桑原氏は、連絡協議会及び自身の住む桂坂地区の建築協定、景観まちづくりの中心人物として長年活動し、建築協定制度の普及啓発や建築協定の運営、景観まちづくりイベント等を通じたまちの魅力向上や活性化、地域資源を活かした個性あるまちづくりの推進、また、その担い手の育成に貢献したことが評価されました。受賞おめでとうございます。

秋の研修会（他都市研修会）開催のお知らせ

活発なまちづくり活動が行われている地区を訪問し、まちなみ見学と意見交換などを行う「他都市研修会」を今年度も企画しております！他地区のまちづくりの取組みを学ぶことで、自分達のまちづくりに活かせる貴重なチャンスです。

建築協定加入者の方ならどなたでも御参加いただけますので、ぜひ、多くの方の御参加をお待ちしております！

※　詳細は、９月上旬に京都市建築協定連絡協議会のホームページに掲載するとともに、各運営委員会を通じて御案内をお届けする予定です。

【見学会概要】

日　　程：平成28年11月5日(土)

訪 問 先：五個荘金堂町地区（集合場所: 京都駅八条口、京都エミナース前）

参 加 費：2,000円（昼食代等を含む）

募集人数：40名(要申込。募集人員を大幅に超えた場合は抽選とさせていただきます。)

申込方法：お住まいの地区の建築協定運営委員会を通してお申込ください。

【お問合せ先】

京都市建築協定連絡協議会事務局
（担当：山田　tel:075-222-3620
fax:075-212-3657）

【研修会申込書】（※事務局へ直接 FAXで返信される場合に御使用ください。）

（協定地区名）　　地区

お名前	住　所	連絡先(当日連絡のつく電話番号)	集合場所	
			京都駅	エミナース

(注) 申込期日：平成28年10月17日(月) 必着